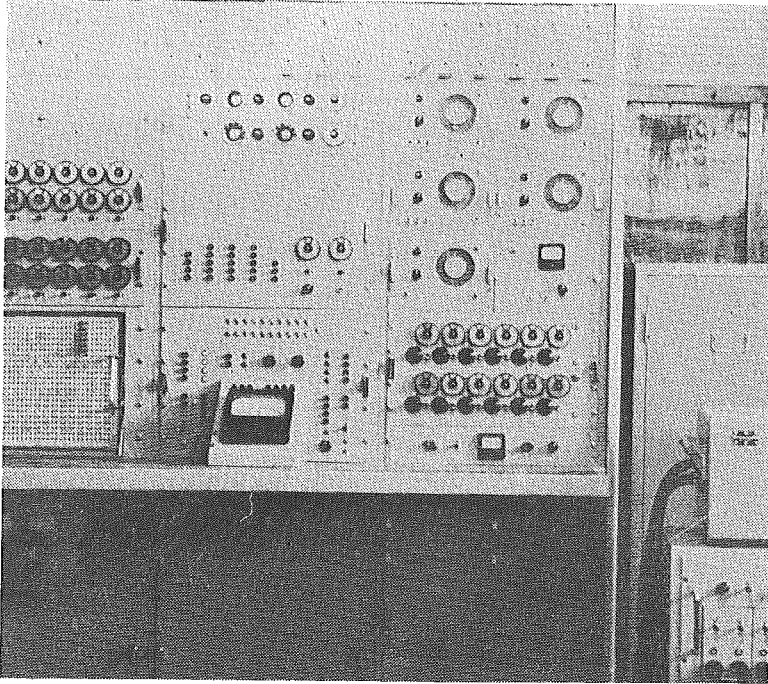


# 洛友会々報

京都市左京区青田本  
京都大学工学部  
電気工学科教室内  
洛友会

さきに設置されたリアクター・シミュレータを昭和三十六年度予算で整備拡充してニュークリア・パワープラント・シミュレータとして新発足することになり、演算増巾器七〇台を敷えるなどアナログ・コンピュータとして我が国最大規模のものとなり、動力用原子炉の設計その他に絶大な偉力を發揮することになった。



## 隨感

鳥養利三郎

### 洗たくから大学入試まで

われわれの生活は昔に比べると随分便利になった。また内容も向上した。テレビ、電気冷蔵庫、電気洗たく機のないうちは少ないらしい。けっこうなことと思う。それにしても、このような普及状態はアメリカは別だが、ヨーロッパでは例の少ないことらしい。昨春秋、欧米を回って来られた私の親しい友人の話によると、ロンドンでは洗たくセンターというのがある、そこには多数の洗たく機が並べられ、主婦連中が洗たく物の持つて集まってくる。いわば近代式の井戸端というわけで、彼女らは洗たくの出来上がるのをおしゃべりをしながら待っているのだそうだ。各自別々に備える程のゆとりがないのか、あるいはまた高い観念から経済全般を見通しているのか、とにかく洗たく共同体とでもいふべき仕組みが出来ているのである。

下し、自分の意のままに何でもやれどと自負していたものであるが、今では世界がすっかり変わってしまった。さすがのイギリスでも欧州共同体に参加するのだから、その経済が立ち行かないといわれるようになったのである。あの自尊心の強いイギリス主婦連が、洗たく物をかかえてセンターへ出てくるようになったのも、このことと一連のつながりがないとはいえない。

一体、イギリス人はもともと保守的孤獨的で、家庭の裏側を人様に見せるようなことはしたがらないと聞いているが、時の流れは遂に主婦をして洗たくセンターへ出て来させ、シャツやパンツの汚れぐあひまで披露させるに至ったのであろうか。イギリス帝国がその強大をほこっていたころには、他の国などは眼下に見

一月ほど前に私もアメリカのポールズ博士を招いて、大学入学についての研究会を開いた。この問題は現在日本における最も大きい課題の一つといえよう。入学試験のためには、進学者も父兄もあるいはまた大学自体さえも、どれだけ苦労していることか。その上、このために若い人達をスポイルすることかくのごとくはなほだしきに至っては、最早このままではすごされまい。

苦勞しているらしい。ポールズ博士から聞いたところによると、アメリカのやり方は大体つぎのようである。

もっともこの問題は日本だけのものではなく、各固共に大なり小なり苦勞しているらしい。ポールズ博士から聞いたところによると、アメリカのやり方は大体つぎのようである。

アメリカにはおよそ一七〇〇の大学があるが、その大部分の加盟によって、大学入試協会とでもいふべき財団が結成されていて、それが毎年

大学入学希望者全員に対し一斉に試験を行なう。科目は進学適性検査を土台とするが、外に各一時間程度の語学・数学・理科を加える。協会は採点するだけで序列は付けない。点数そのままを受験生の志望大学へ報告し、大学はそれを土台にして採否を決定する。受験生は三校まで志望出来るから、大体何れかの大学へおさまるそうである。この方法だと、大学所在地へ行かなくともどこでも自分の都合のよい所で受験出来るという便宜がある。この試験で最も留意しているのは、受験準備や予備校の学修を役に立たせないようにする点であるということである。

私は今ここで入試のやり方に比較論評を加えて、結論を出そうと考えたわけではない。また洗たくセンターなるものに賛成して、これを取り上げたのではない。賛成どころか、こういうものは日本には向かないとさえ考えている。ただ私は共産圏とか、AAGグループとか、欧州経済共同体とかいうような政治や経済の面で生れた共同体制の構想が、洗たくから大学入試にまで波及して来たように感じられるということはいったただけである。孤立独善の時代ではないようだ。

### バラと鉄条網

口では平和、平和というがその実は鬭争一点張りという、いつわり者の多い世の中に、それとは正反対にただ黙々として平和運動に細かい心づかいを捧げつづけている人々が、

案外にも多いのには、ほのぼのとした気持ちわき出てくる。最近伝えられたところによると、アフリカ航路三原丸の通信長をしておられる今井繁夫さんも民間における国際関係のかくれた功労者の一人といえよう。氏の考え方によれば、国際間の理解親善というものは、子供の時から植えつけるべきであって、それも言葉や文章を通してでは手っとり早く行かないが、万国共通たる絵画の交換から始めると、最も楽でかつ効果的であるというのである。氏は知り合いの絵の先生の協力を得て、小学校生徒の絵画を数十枚ずつ航海ごとにシンガポールやアフリカ各地の学校へ届け、帰りには先方の生徒の作品を代りに貰ってくるのであるが、こうした絵の取り持つ縁で、学校と学校、生徒と生徒との親善が深まり、アフリカのある校長の如きは来春日本来訪の希望を明らかにするに至ったというのである。

絵画や写真の交換による親善工作は、ロータリークラブでもユネスコでもあるいはまた他の団体でも、すでに早くから実行していて珍しいことではないのであるが、今井氏の場合はそういう有力な団体をバックにしているのではなく、船員という恰好の立場を活用して平和主義の理想を一個人として実行しているところに特色がある。こういう人がもつともっと沢山出て来るならば、世界はうんと朗かになるのではなからうか。

ラについての講話を聞いた。そのお話の中のバラの近代発達に関する一節が特に私に感銘を与えた。それはこういう意味のものであった。バラがその種類においてまたその質において大きな進歩を遂げたのには、ナポレオンのジョセフィン皇后の功績が大にあらずかっている。皇后は欧州はもち論のこと、東洋からもアメリカからも世界中のバラを集めてそのバラ園に収めた。かくていわゆる国際的陶汰に基づく改良が行なわれたこと並びにそのバラ園の管理に對して世間の人々が理解と保護を惜しまなかつたことが大きな原因をなしているというのである。皇后の没後ではあるが、英国軍が侵入した時、その司令官は軍旅そうそうの際にもかわらず「バラ園を荒らしてはならぬ」という布告を發したと伝えられている。バラの進歩発達にもこういう歴史といわれがあるのである。人類をしあわせにする根本は教育の普及と文化の向上にあると思うが、その教育も文化も共に国際的な交流陶冶と、英軍の司令官がバラ園に對して示したような愛情と理解によつてはぐくまれて、はじめて普及もし向上も望まれるのである。だからこそ人類の福祉と世界の平和のために、国境を越え民族を超越した理解と助け合いが何をおいてもまず第一に必要なといわれるのであろう。

だのに、元は共々に一つの国を造つていた一つの民族でありながら、外国の権力のために無理に二つに分断され、その上相争つてしまつて

り立てられているのは何たることであらうか。東西両ベルリンは血をわけ合つた同じ民族なのに楽しみも悲しみも共にすることが出来ないだけでなく、隔壁と鉄条網で行き来を遮断されているというのは、国際暴力のいかに無慈悲なるかを示すものである。現代の政治家は昔の將軍が敵のバラに對して示した程の愛情を人間に對して持つていないらしい。人類の進歩にとつて悲しいことである。

日米會議こぼれ話

今度の日米會議には私も代表の一人として参加した。終戦直後マッカーサー元帥が呼びよせたアメリカ教育使節団来訪の際にも私は日本側の委員としてそのお相手役をつとめた。あれは昭和二十一年の二月から三月へかけてのことであるから、日本がドン底の苦難にあえいでいた時である。會議とはいふもの、実は敗者が勝者からお指図を受ける会合であつたのだから、日本側はきんちようそのもので、笑い声が出るような場面は少しもなかつた。当時日本に七つしかなかつた帝国大学の総長が、アルミ弁当箱をぶらさげて、大雪の中をどろんこになつて小石川の宿から会場の三井銀行へ電車で(自動車などはない)一月近くも通いつづけた苦しみを、私は今もって忘れはしない。同行してくれた宮君にも随分苦労をかけたものである。これに比べると今度の會議は天地のちがいで、全く対等でぎつぱらに

話し合い、時にはお互に悪口までい合つて、はては笑い声がわき上がるといふことさえ度々であつた。前回のいやな苦しい経験があるだけに、日本もとうとうここまで来たか、また日米の友好関係もここまで変わったかと、つくづく無量の感慨に浸つたものである。

會議の内容および成果はすでに發表せられた通りであるから、ここでは、ただ一つ、二つのこぼれ話を拾つて見ることにとどめよう。

日米双方における語学教育について、相当長い時間が費やされたことはいうまでもないが、アメリカ側は某オブザーバーが面白い報告を行なつた。その一つ、アメリカ人に日本語を教えるテキストにはいふまでもないことだが、正しい上品な日本語が用いられている。ところがそういうテキストから習つた日本語で日本人と話をすると、相手が年輩の人とか紳士とかならば、それでよく通じるのだが、若い人との場合には通じないことが相当多い。それは相手の日本人に正しい日本語を知らないのが存外多く、またその人たちの好んで使う「イカス」などというような変な日本語はアメリカ側で習つていないということに原因がある。結局、教科書の品位をある程度低下させる必要があるといふのである。近頃の日本語の乱れのはなはだしいことに對して、われわれ日本人の反省が強く促されているという感じを受けた。

これとは大分わけがちがうのであるが、私共が歌舞伎の某名優か

ら聞いた話をふと思ひ出した。その名優が大学生と對談中に「ただ今参上仕る」というセリフを述べたところ、学生は「ただ今」だけはわかるが、「参上」はよくわからないし、「仕る」とは何の事だか一向わかりませんといったのである。そんな古くさい言葉までおぼえろというような野暮なことはいわれないが、それにしても日本人も随分日本語に弱くなつたものだ。

次は日本人への英語教育である。なかなか英語のうまい人も沢山いるにはいるが、私のような凡人は十年も英語を習つたのに何の役に立たない。何とか良い教授法はないものかというのが會議での論点であつた。これに對して「それはあるにはある。それを実行すれば上達も早いし、また大いに役に立つ。しかし大学の入学試験には通らないだろう」ということに落ちついた。入学試験に通るような教え方をしているは役に立つ英語にはならないといふのである。

世相の流れといふものが日本語を乱れさせたり、入学試験が英語教授法の合理化を妨げたりするとするならば、それも一種の多数の力の横暴といえるのではなからうか。

関西支部総会

延び延びになつてきた関西支部総会は二月二日中央電氣クラブにて開催された。芦原支部長の挨拶に加えて電力界の新しい動向ともいふべき興味あ

# 第十一回 洛友会總會通知

一、日時 五月十九日(土)午後三時より受付開始  
 二、總會及び懇親会々々場 東京都文京区関口町四一

椿山荘 電話(941)〇一一七  
 国電目白駅、バス関口台町下車

三、總會 午後四時より

議案 一、事務並に会計報告 二、昭和三十七年度予算審議

三、役員改選の件 四、その他

四、懇親会 午後五時より

余興 西崎流舞踊団等の出演あり

五、散会 午後七時半の予定

六、会費 金八〇〇円 同伴者 六〇〇円

会費は別紙振替用紙をもってお払込み下さい。なおこれをもって總會並に懇親会出席御通知に代えますから五月十日までに到着するようにお送り下さい。

七、家族同伴歓迎

本会合には御家族同伴を歓迎することになっておりまして、から多数お申込を頂き度。

## 洛友会東京支部總會並に 新会員歓迎会

一、日時 五月十九日(土)午後三時半より

二、会場 椿山荘

三、總會

議案 一、事務並に会計報告 二、昭和三十七年度予算審議

三、その他

四、新会員歓迎、紹介

なお、当日は洛友会本部總會と同時に椿山荘で開きますので、本部總會に先だって支部總會を開きます。

る話があったのち、山村幹事より事務会計の報告があり、開宴、新会員の紹介があつて午後八時、道田先輩の発声により洛友会の万歳を三唱して散会した。

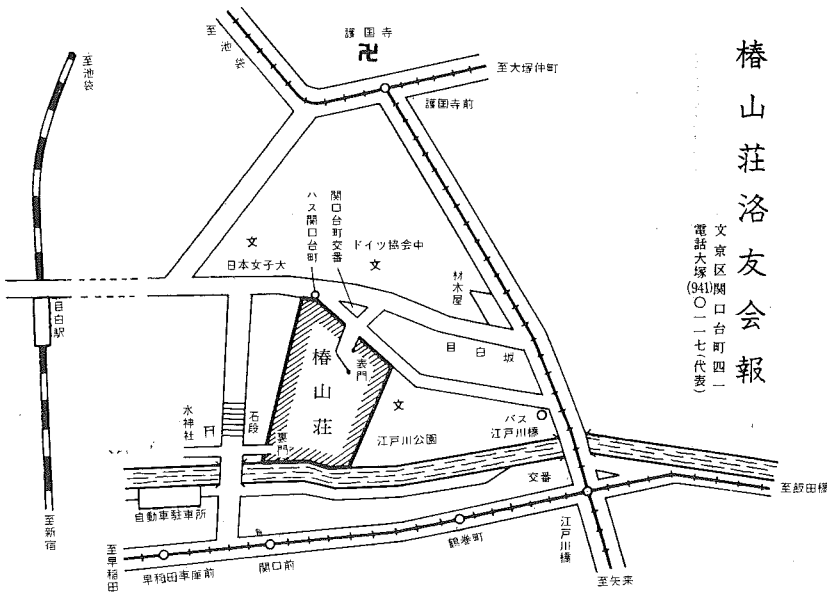
出席者

- 明43 道田 貞治 大2 堀 鹿造
- 4 石黒 九一 6 上林 一雄
- 光野 重威 山村 忠行
- 7 工藤 寿男 9 弘田亀之助

- 大9 林 英作
- 12 今田 誠治
- 藤田 通雄
- 田中 通雄
- 大久保達郎
- 上林 明
- 安本 健助
- 山泉 敏夫
- 吉田 洪二
- 鈴木 茂
- 大9 林 英作
- 11 大山 駿介
- 丹波 孝三
- 13 荻原 義重
- 奥谷 久彦
- 木津 圭蔵
- 鈴木 亮三
- 高田 信男
- 野田忠二郎
- 上西 亮二
- 和田 昌博

### 椿山荘洛友会報

文京区関口台町四一  
電話大塚(941)〇一一七代表)



目白駅より新宿西口行バスに乗車関口台町(椿山荘前)下車  
都電江戸川橋下車徒歩十分

- |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |         |         |          |          |          |          |          |       |       |       |          |         |          |          |         |          |       |         |         |       |         |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|-------|-------|-------|----------|---------|----------|----------|---------|----------|-------|---------|---------|-------|---------|-------|
| 須崎 涉  | 杉本 真生 | 関 和一郎 | 坂口 瑛  | 福渡 英世 | 脇野 征一 | 川本 博久 | 橋本 直樹 | 釜江 尚彦 | 三島 温朗 | 西尾 秀和 | 榊 博史  | 35 榊 博史 | 34 小出 博 | 32 三好 一賢 | 31 山口 益生 | 30 中堀 増夫 | 29 野田 権祐 | 28 高谷 克己 | 宇野 敏一 | 岡田 栄  | 兼本 正則 | 23 米田 豊宏 | 角田 寛    | 15 板倉 清保 | 清水 治郎    | 中堀 孝志   | 10 佐々木卓夫 | 喜田村善一 | 9 高橋 光雄 | 8 宮本 政幸 | 尾形 理  | 昭7 土井 潔 |       |
| 平山 博英 | 高口 顯三 | 菅田 一博 | 石井 清隆 | 横山 弘道 | 太田 邦弘 | 藤井 泰郎 | 山下 倡義 | 林 幸平  | 平岡 晋  | 藤 洋作  | 辻本 好伸 | 宇田 裕重   | 水田 明秀   | 林 重雄     | 竹田 静思    | 橋本 宗久    | 天谷 規夫    | 林 徹      | 米原 幹夫 | 東松 孝臣 | 中山 清光 | 24 飯田 義直 | 22 出口 弘 | 18 並木 博  | 16 安藤 安二 | 13 山本 健 | 11 森 元行  | 辻 藤吉  | 北井 方    | 尾崎 完    | 塩見 武夫 | 永田 良孝   | 桂田 徳勝 |

洛友会東海支部秋季例会

十一月二十三日、我々東海支部の会員は秋晴れにめぐまれた勤労感謝のこの佳き日を卜して天下に名高い松坂市の和田金で例会を開いた。

開会時刻は正午にせまり食慾はかなりの高ぶりをみせていたが、先づ前田先生の「宇宙空間の科学」と題するご講演を聞くことになった。

- 前田 先生 山村幹事
小田嶋修三 清水勲二 本多静雄
河津吉兵衛 田中卓次 智識兼則
吉村 敏恭 塩津 均 古田久一
高満 通哉 高尾警夫 河村泰雄
坂本 忠久 大杉 幹 川村 進
水野 正光 藤田和也 川合幸彦
末田 和 伊藤定昌 小島謙一
佐藤 彰洋 兼松正幸 西尾又一
木崎 和郎 横川京次 三宅和雄
山下 耕市

楽謡会誕生

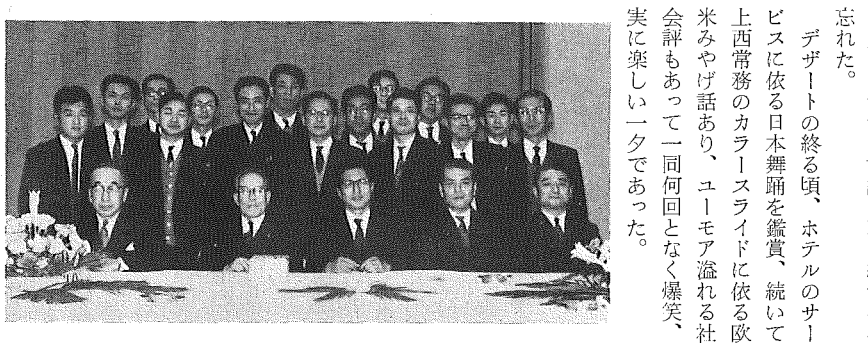
東京支部では趣味の会として以前より講誼会、ゴルフ、囲碁、将棋、麻雀等が毎年数回行なわれて会員相互の親睦をはかってきたが、釣部は未だ発足していない。謡曲部はやっ

- 一、嵐山 中谷 操 乙葉喜久 真崎尚忠
二、田村 真崎尚忠 石川弘文 乙葉喜久 石川弘文
三、大原行幸 中谷 潔 乙葉真一 真崎尚忠
四、小 督 中谷 操 石川弘文 真崎尚忠
五、鞍馬天狗 乙葉喜久 石川弘文 中谷 潔

乙葉真一 真崎尚忠
石川弘文 中谷 潔
乙葉喜久 石川弘文
中谷 操 石川弘文
真崎尚忠

鳥津製作所洛友会記事

鳥養先生が京都市より名誉市民の称号をお受けになったのを記念し、お祝いのパーティーを昭和三十六年十月十八日夕、京都国際ホテルにて開催した。



出席者次の通り。

- 鳥養先生、近藤先生
上西亮二(6) 西川豊蔵(9)
中堀孝志(10) 野村 勇(17)
佐野博也(18) 秋葉光俊(19)
岡崎 敬(22) 井上光生(23)
萱島敬一(25) 森島省三(25)
藤原進(26) 伊藤啓二郎(27)
福田克雄(28) 染山孝雄(29)
金森仁志(30) 喜利元貞(34)
西川 孚(30) 小川主夫(36)
(西川記)

昭和十六年十二月卒業
二十周年
記念クラス会
晩秋の十一月二十八日、二十年前謝恩会をひらいた思い出の京都ホテルにおいて卒業二十周年記念クラス会を開いた。



発声を頂いて乾杯、デザートに入っ
て諸先生方の思い出話、出席者の波
乱に満ちた二十年間の報告を終える
頃は予定の時間をはるかにすぎ、一
同尽きぬ名残に再会を約し、意義深
い二十周年記念会を閉じた。
(竹屋記)

電話 一八五二
乙葉 真一